

神奈川県立中原支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和6年度 中原支援学校 第2回 運営協議会
開催日時	令和6年12月9日（月） 午前9時40分～午前11時30分
開催場所	本校 支援ルーム
出席者	委員：8名（本校校長1名含む） 事務局：7名
会議資料	・学校評価(年間報告)
議事録	<p>1 開会・校長挨拶</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 学校評価(中間報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな方との交流は、体験的に重要と考える。学年を超えた交流だけでも違つてくる。通常のカリキュラムの中に、そのような授業が増えてくると良い。 ・販売会は、すごく良かった。社会に向けた経験として良い。加えて、外部の人とも関わるようになってもらえたと良い。 ・先生方は、様々なことに取組んでいることに対して、自信を持ってほしい。 ・ICT機器の活用では、視線入力装置を使い、遠隔操作でコーヒーを入れていることに感心した。 ・なぜマニュアルが必要なのかを考え、マニュアルがあることで、理解が深まるというものである方がよい。マニュアルに縛られるのはどうかと思う。 <p>4 部会に分かれて協議</p> <p>○学校評価部会 協議テーマ「地域資源の活用について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の講師として、保護者を活用してもよいのではないか。 ・市では、「地域の寺子屋事業」を行っており、ボランティアの募集をかけている。沢山のボランティアが事業に参加している。 ・持続可能な運営にするためには、学校の中に人材バンクを作り、登録してもらえるようなシステムがあると良いのではないか ・部活動の指導者については、生徒が通うスポーツクラブに依頼することも考えられる。 <p>○切れ目ない支援部会 協議テーマ「キャリア・パスポートを卒業後に活用するための手立て」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の「強み」頑張ってきたことをことがわかる点は良い。課題や配慮事項について、卒業後の支援者などつながるものとしたい。 ・見ただけでイメージできない部分もある。このような指導や支援があることで成長が見られたということがわかりやすく伝わると良い。 <p>5 各部会からの報告</p> <p>6 校長謝辞</p> <p>7 事務連絡</p> <p>8 閉会</p>